

車いす乗降の苦情ゼロへ

ラジタクがフォローアップ研修



JPNタクシーのスロープで安全な車いす乗降を練習する受講者ら（7月28日、横浜市）

神奈川旅客自動車協同組合（ラジオタクシー、馬場正治代表理事）は車いす乗降での苦情ゼロを目指し、横浜市・神奈川トヨタ自動

車ビジネスモビリティセンターで実施した。フォローアップ研修は3回目。この日はグループ内の大栄交通、三慶交通、富士見交通、サンタクシーの

4社の乗務員ら10人が受講した。指導にあたったのは神奈川トヨタ自動車ユニバーサルモビリティ部の佐藤茜さんら。10人を3班に分けて3台のJPNタクシーを使い、午後1時から午後4時まで研修。スロープの設置▽タンブル（前部座席跳ね上げ）▽チップアップ（後部座席跳ね上げ）▽乗降、車いすの固定、シートベルト装着▽横乗り▽車いすを降りての乗降——など車いすの旅客のさまざまな乗降シーンへの安全・安心な対応を繰り返し練習した。スロープで安全に乗降するために車いす重量、乗客の体重の確認は欠かせないとし、「女性でも体重を聞いて」とアドバイス。乗車

方法も車いすのままか、たんで乗るかを聞き出し、かかる時間を具体的に伝え、降りる場所はある程度の広さが必要なことを知らせるなどといった「声かけポイント」も伝えた。2年前に最初の研修を修了した男性受講者（44）は「今回の講習で自信がつか」と感想を話した。